

増設リモコン 設置工事説明書

品名 SC-200



U284-1489(00)K

070 00012 46618 7

工事される方へ

- 機器を正しく安全に使用していただくために、この設置工事説明書をよくお読みになって指定された工事を行ってください。
- 本品を指定する機器にご使用ください。

1 設置前の確認

- 機器本体からリモコンまでの接続線は 24V 以下ですので、この配線工事は「小勢力回路の工事」に該当し、電気工事士の資格がなくても工事できますが、電気設備に関する技術基準に合った電気工事で施工してください。
- 2 芯ケーブルは他の電気製品の電源コードと離して配線してください。洗濯機・冷蔵庫・衣類乾燥機などの電源コードと近接・併走配線すると、機器が作動しないことがあります。また、テレビ・ラジオ・ステレオなどの電源コードと接近して配線すると、テレビなどの画像・音声にノイズ（雑音など）が入ることがあります。
- 2 芯ケーブルが余る場合は、機器の外にて処理してください。（機器の中へは絶対に押し込まないでください）
- 浴室には設置しないでください。

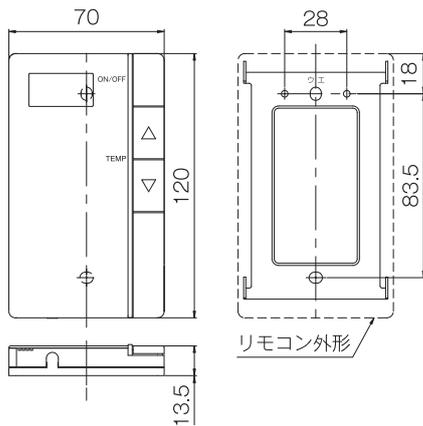
- 2 芯ケーブルを機器本体と接続するときは、機器の電源プラグが抜いてある（分電盤の専用ブレーカーが「切」になっている）ことを確認してから行ってください。
- 下記の場所には取り付けしないでください。
 - ・温度が高くなる場所
 - ・直射日光のあたるところ
 - ・湯気のかかるところ
 - ・油のかかるところ
 - ・特殊な薬品（ベンジン、アルコールなど）を使用する場所
 - ・水しぶぎのかかるところ
 - ・段差のある壁面（ケースが変形して不具合が発生することがあります。）
- 壁面埋込配線の場合は、始めにリモコン取り付け壁面から 2 芯ケーブルが引き出されていることを確認してください。



2 外形寸法図

単位：mm

壁取付金具



- 注 1) リモコンは段差のない壁面に取り付けてください。段差のある壁面に強く締め付けると、リモコンのケースが変形して不具合が発生することがあります。
- 注 2) リモコンは絶対に分解しないでください。故障の原因となります。
- 注 3) 床暖房リモコンや他のリモコン、スイッチ類を複数並べて設置する場合は、左右 50mm 以上の離隔距離をとってください。

3 付属部品

- 梱包内には下記の付属部品が入っています。設置工事の前にご確認ください。

部品名	形状	個数	備考
リモコン本体		1	
壁取付金具		1	
⊕木ねじ φ 4.1 × 25		2	
プラグ		2	
⊕小ねじ M4 × 25		2	スイッチボックス用

部品名	形状	個数	備考
ケーブルクランプ7N		12.2	1 UC-25 ケーブルと UC-25C ケーブルを 3 本一緒にクランプするとき使用
取扱説明書		1	
設置工事説明書		1	本書

※ケーブルクランプは機器側で使用するものです。機器の設置工事説明書をお読みください。

※リモコンの変形や取り付け不良の原因となりますので、ねじ類は必ずリモコンに付属のものを使用してください。

4 別売部品

- 別売部品は機器の必要に応じ別途お買い求めください。
- このリモコンと併設可能な台所リモコン・浴室リモコンの型式については、接続する熱源機の設置工事説明書の別売部品欄をご覧ください。

名称	型式
2 芯ケーブル	UC-25-□□ (リモコン側…Y 型端子) UC-27-□□ (機器側…Y 型端子)

5 リモコンの取り付け

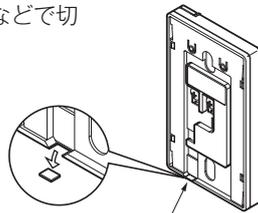
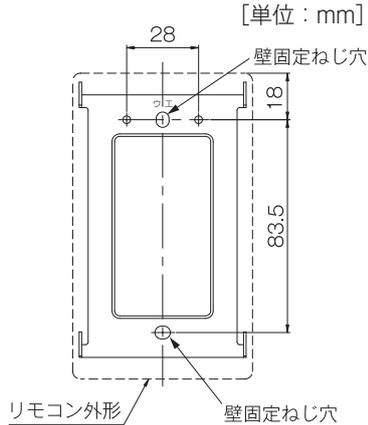
露出配線で木壁面やコンクリート壁面に取り付ける場合

- ①壁取付金具を壁面に付属の
⊕木ねじにて固定してください。壁（または壁の素地）がコンクリート・ブロックなどの場合はプラグ用穴（φ6、深さ25mm以上）を2か所あけ、プラグを入れてから、付属の⊕木ねじにて固定してください。機種が異なるリモコンの壁取付金具は使用できませんので、既設の壁取付金具は取り替えてください。

※⊕木ねじを締め付けすぎると壁取付金具が変形するおそれがありますのでご注意ください。

取り付け後は壁取付金具と壁にすき間がないことを確認してください。

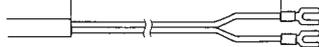
- ②ケーブル取出口（下部）をニッパーなどで切り取ってください。



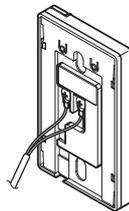
ケーブル取出口

約65mm

- ③2芯ケーブルの外側の被覆を約65mmむいてください。

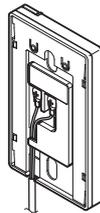


- ④2芯ケーブルのY型端子をリモコン裏面の端子に接続してください。接続の際には、ねじのゆるみがないことやより線がほどけた芯線が出ていないことを確認してください。

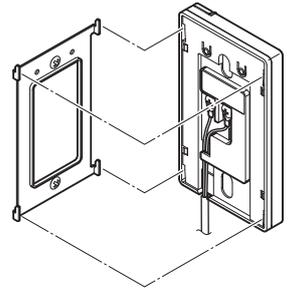


- ⑤2芯ケーブルをケースのツメに引っかけて固定してください。

※2芯ケーブルの被覆が完全にケースから出ていることを確認してください。樹脂が変形して不具合が発生することがあります。

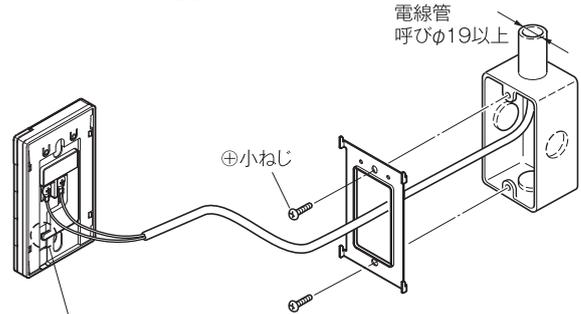


- ⑥壁取付金具に上からスライドさせるようにリモコンを取り付けます。



壁内埋込配線でスイッチボックスに取り付ける場合

- ①壁取付金具を付属の⊕小ねじ（M4×25）で、スイッチボックスに取り付けてください。



このツメは露出配線用です。スイッチボックスに取り付ける場合は、ケーブルをひっかかないでください。露出配線以外でこのツメを使用すると不具合が発生することがあります。

- ※横向きのスイッチボックスには施工できません。



- ②2芯ケーブルのY型端子をリモコン裏面の端子台に接続してください。

- ③壁取付金具にリモコンを取り付けてください。
注) ⊕小ねじを締め付ける際、インパクトドライバーは使用しないでください。樹脂が変形して不具合が発生することがあります。また、トルク規制ができるドリルドライバー（ドライバードリル）の場合は、0.49N・m（5kgf・cm）以下のトルクで締め付けてください。

注) リモコンを壁に固定するときに、ケーブルが壁とケースの間に挟み込まれると、樹脂が変形し不具合が発生することがあります。特に壁埋込配線でスイッチボックスを使わずに施工する場合は、よく確認して設置してください。

6 2芯ケーブルについて

- ケーブルは別売の専用2芯ケーブル（UC-25-□□またはUC-27-□□）を使用してください。
- パイプシャフト設置・パイプシャフト扉内設置の場合は必ずUC-27-□□を使用してください。
- 市販のケーブルを使用する場合は、JIS C 3312に合格のVCTまたはJIS C 3306に合格のVCTFを用い、仕上外径9mm以下をご使用ください。
- 芯線の公称断面積が0.5mm²より小さいケーブルは故障の原因となりますので使用しないでください。
- ケーブルにY型端子をかしめる際、より線のほどけた芯線などが出ていたり、端子接続時にほどけた芯線がもう1本のケーブルと接触してショートすることがあります。これは機器が正常に作動しないばかりでなく、機器本体の電装ユニットの故障にもつながりますので、Y型端子の接続には十分にご注意ください。
- ケーブルは直接熱の影響を受けないところに配線してください。

- ケーブルをコンクリートなどに埋め込む場合には、電線管などに収めてケーブルに傷がつかないように保護してください。
 - ・メタルラスなどを有する壁を貫通する場合は、メタルラスなどと金属電線管が接触しないように十分距離を確保してください。
- 機器からリモコンまでのケーブル線の長さは25m以内とし、他のリモコンとのケーブル線の総延長が50m以内になるように配線工事を行ってください。
 - ・ケーブル線径と電線管の関係
ケーブル線を電線管に入れて配線する場合は、ケーブル仕上外径は、端子をケーブルにかしめる前と後では異なりますので注意してください。
 - ・電線管は呼びφ19以上をお使いください。ただし、浴室リモコンも設置する場合は2Pコネクタがあるため電線管呼びφ25以上をお使いください。
- ケーブル接続時には、ケーブルに付着した水滴や油がリモコン端子に付着しないよう、配線の途中にU字トラップを設けてください。